

ロボット・テクノロジー 関連株ファンド ーロボテックー

運用報告書（全体版） 第6期 （決算日 2018年9月13日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約9年9カ月間（2015年12月7日～2025年9月12日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」といいます。）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、値上がり利益を追求することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー」は、このたび、第6期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
2期末(2016年9月13日)	円 9,333	円 0	% 1.9	8,596	% △ 3.9	% 0.0	% 98.5	百万円 99,403
3期末(2017年3月13日)	10,933	800	25.7	10,525	22.4	0.0	98.6	121,637
4期末(2017年9月13日)	11,926	450	13.2	11,161	6.0	—	98.7	222,412
5期末(2018年3月13日)	12,898	300	10.7	11,823	5.9	—	99.0	389,377
6期末(2018年9月13日)	12,761	0	△ 1.1	12,283	3.9	—	98.8	390,553

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

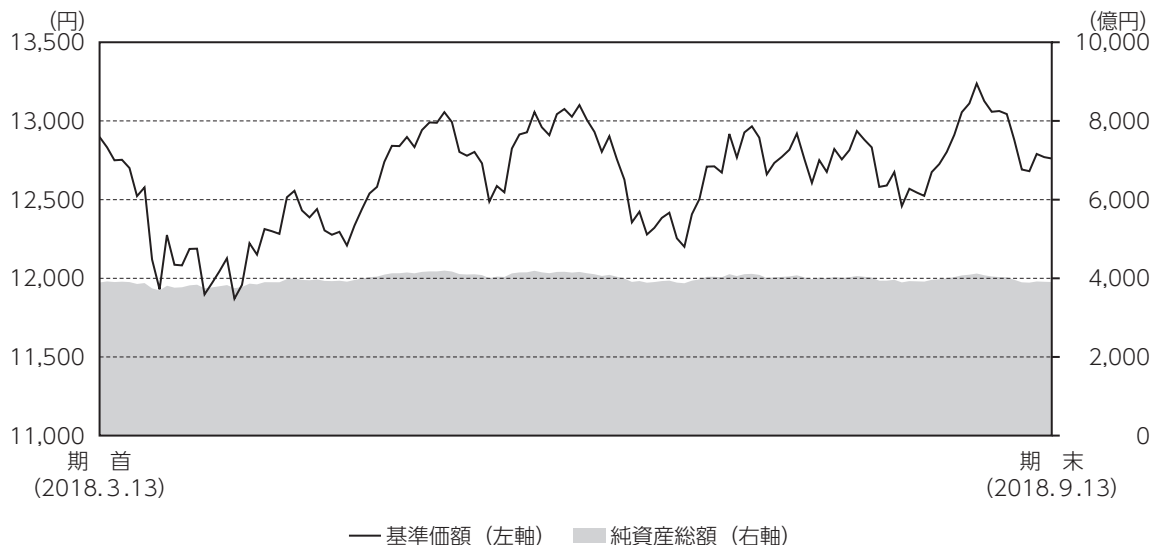
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：12,898円

期末：12,761円

騰落率：△1.1%

■ 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、保有していた米国株式の値上がりや円安米ドル高がプラス要因となった一方、保有していた日本株式や欧州株式が値下がりがしたことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 券 入 入 比	託 券 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2018年3月13日	12,898	% -	11,823	% -	% -	% 99.0	
3月末	12,187	△5.5	11,343	△4.1	-	98.7	
4月末	12,295	△4.7	11,803	△0.2	-	99.2	
5月末	12,587	△2.4	11,781	△0.4	-	99.3	
6月末	12,320	△4.5	11,816	△0.1	-	99.3	
7月末	12,606	△2.3	12,288	3.9	-	99.5	
8月末	13,127	1.8	12,450	5.3	-	99.7	
(期末) 2018年9月13日	12,761	△1.1	12,283	3.9	-	98.8	

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.3.14~2018.9.13)

■グローバル株式市況

株価指数の推移



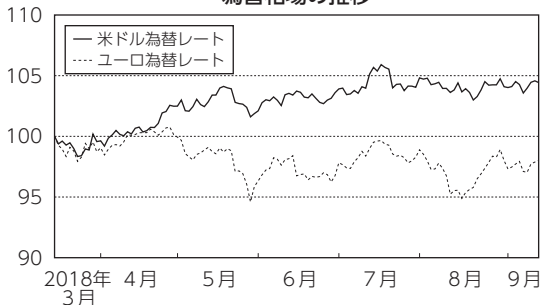
(指数は期首を100として指数化しています。)

グローバル株式市場はほぼ横ばいとなりました(米ドルベース)。

期首より2018年4月上旬にかけては、米国トランプ政権が知的財産権の侵害を理由に中国製品に対する関税強化を表明すると、それに対し中国も報復関税を表明し、貿易摩擦に発展する懸念が強まりグローバル株式市場は下落しました。その後は、5月後半のイタリアやスペインの政情不安、6月後半の米中貿易摩擦への懸念の高まり、8月中旬のトルコ・リラ急落、9月上旬の米中貿易摩擦への懸念の再燃などのリスク要因から下押しする場面もみられましたが、おおむね良好な経済指標や好調な企業業績に支えられ、株式市場は上昇基調となりました。セクター別では、ヘルスケアが市場全体を上回る上昇となった一方、貿易摩擦の影響が懸念された資本財は下落しました。

■為替相場 (米ドル/円、ユーロ/円)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、期首を100として指数化しています。)

為替相場は円安米ドル高、円高ユーロ安となりました。

米ドル円相場は、米中貿易摩擦への懸念が後退した局面や米国の金利が上昇した局面で、円安米ドル高が進行しました。

ユーロ円相場は、イタリアやスペインで政治の先行き不透明感が高まったことや、トルコ・リラが急落した局面で経済的結びつきが強い欧州への影響が懸念されたことから、円高ユーロ安となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」（以下「ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」といいます。）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行ないます。「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業など、「運ぶ」では、自動運転技術向けの自動車部品企業、「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

ロボット関連企業の株価バリュエーションについて割高との見方も出てきていますが、これらの企業については、新たに注目される技術分野において収益化を進め、市場の期待とバランスしていると考えています。また、その利益成長が他の分野に比べて大きく加速していることから、株価バリュエーションが割高であるとは考えておりません。良好な経済環境のもと、多くの企業が積極的な設備投資計画を立てており、ロボット関連企業の業績を支えています。また、米国の税制改革による企業の収益性改善見通しのもと、M&A（企業の合併・買収）もさらに活発化し、有望な技術を持つロボット関連企業がターゲットになると考えられます。さらに、これまでロボット技術やFA（工場生産の自動化）技術があまり導入されていなかった分野でも、今後導入が加速するとみられます。このような環境のもと、引き続き成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018.3.14~2018.9.13)

■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の受益証券とダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当期は、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の受益証券を高位に組み入れました。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行ない、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面ではアップル、アマゾン・ドット・コム、キーエンスのような大型株から、テラデザイン、ライト・メディカル・グループなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国や日本を中心に投資しました。

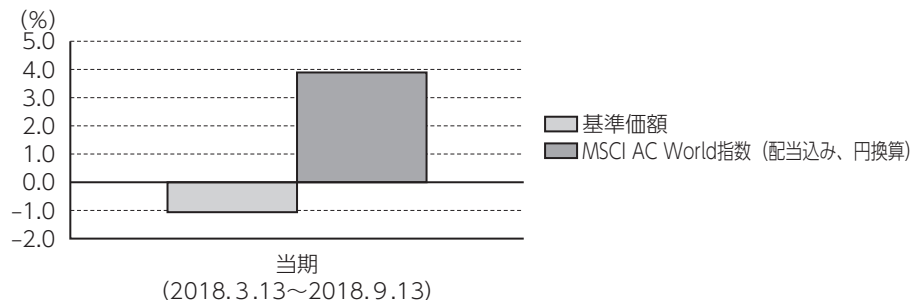
当期は、エネルギーや化学業界向けの最適化ソフトウェアを専門とする米国のアスペン・テクノロジーの買い増しを行なったほか、アンシスやオートデスクなどのデザイン・ソフトウェア企業や、英国のオンライン専門スーパーマーケットのオカド・グループを新規に組み入れました。また、英国のセンサータ・テクノロジーズ・ホールディングや、スイスのABBを売却して、センサーやコネクタを製造・販売するスイスのTEコネクティビティやフランスの産業用オートメーション・制御機器メーカーのシュナイダー・エレクトリックの組み入れを増やしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期	
	2018年3月14日 ～2018年9月13日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,761	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

足元は貿易摩擦への懸念や米国の金利上昇圧力による景気減速懸念などの不透明要素がある中、グローバル株式市場は全般的に上値の重い環境が続いていますが、当ファンドで投資する企業の多くは業績好調で、今後の事業見通しも良好です。2018年年初から8月末までの時点では、保有銘柄の収益の伸びは株価の上昇を上回っています。つまり、ロボットや自動化関連銘柄のバリュエーションは割安な水準にあるといえます。運用チームでは、企業のファンダメンタルズにフォーカスし、株価が弱含む局面があれば、中長期的に確信度の高い銘柄を積み増す好機として考えています。また、不透明感がある環境では、景気や短期的な需要のサイクルに左右されにくいヘルスケア・セクターやソフトウェア・セクターの組み入れが当ファンドのパフォーマンスを支えるものとみています。今後も、将来的に成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行なうことでファンドの成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2018.3.14~2018.9.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	77円	0.612%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,641円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.190)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(52)	(0.408)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	77	0.613	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2018年3月14日から2018年9月13日まで)

国	内	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千□	千円	千□	千円
	アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	19,863,057.188	28,050,000	18,583,667.321	27,320,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千□	千円	%
アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	263,793,925.716	385,745,857	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	金 額	評 価 額	□ 数	金 額	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千□	千円	千円	千□	千円	千円
	947	947	949	947	947	949

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	385,745,857	97.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	949	0.0
コール・ローン等、その他	8,837,080	2.2
投資信託財産総額	394,583,887	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月13日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	394,583,887,840円
コール・ローン等	8,637,080,725
投資信託受益証券(評価額)	385,745,857,574
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	949,541
未収入金	200,000,000
(B) 負債	4,030,129,074
未払解約金	1,583,641,729
未払信託報酬	2,445,298,367
その他未払費用	1,188,978
(C) 純資産総額(A - B)	390,553,758,766
元本	306,047,856,491
次期繰越損益金	84,505,902,275
(D) 受益権総口数	306,047,856,491口
1万口当り基準価額(C / D)	12,761円

* 期首における元本額は301,897,631,022円、当期中における追加設定元本額は55,249,792,895円、同解約元本額は51,099,567,426円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,761円です。

■損益の状況

当期 自2018年3月14日 至2018年9月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 924,424円
受取利息	83,316
支払利息	△ 1,007,740
(B) 有価証券売買損益	△ 182,288,447
売買益	883,339,481
売買損	△ 1,065,627,928
(C) 信託報酬等	△ 2,447,791,456
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 2,631,004,327
(E) 前期繰越損益金	23,023,805,722
(F) 追加信託差損益金	64,113,100,880
(配当等相当額)	(39,337,541,570)
(売買損益相当額)	(24,775,559,310)
(G) 合計(D + E + F)	84,505,902,275
次期繰越損益金(G)	84,505,902,275
追加信託差損益金	64,113,100,880
(配当等相当額)	(39,337,541,570)
(売買損益相当額)	(24,775,559,310)
分配準備積立金	23,025,515,139
繰越損益金	△ 2,632,713,744

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	61,483,021,148
(d) 分配準備積立金	23,025,515,139
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	84,508,536,287
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	84,508,536,287
(h) 受益権総口数	306,047,856,491口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド（ロボテック））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年9月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を12ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年3月14日から2018年9月13日まで)

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
757	国庫短期証券 2018/8/13		千円 200,001				千円
731	国庫短期証券 2018/7/10		150,000				

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年9月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

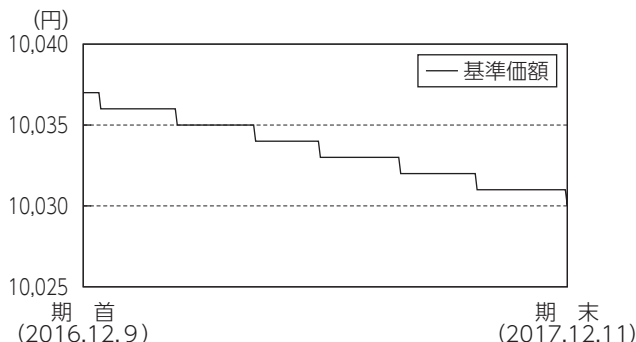
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は四捨五入。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

銘	柄	当 期	
		買 付 額	売 付 額
		金 額	金 額
		千円	千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400	
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199	
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078	
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144	
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282	
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194	
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248	
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300	
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041	
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は四捨五入。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C / D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U.S 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、U.S 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス6,073,206,032円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の福音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワU.S 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット垂組垂株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり 49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし 49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（平成37年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ペーパーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行いません。 マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績向上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき配分を行います。	
	①配分対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。	
	②配分金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては配分を行わないこともあります。将来の配分金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いません。		

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第5期（決算日 2018年8月13日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第5期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 金			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	配 金	騰 落 中 率		
(設 定 日) 2015年12月 8 日	円 10,000		円 —	% —	% —	百万円 95
1 期末(2016年 8 月15日)	9,145	0	△ 8.6	96.9	108,145	
2 期末(2017年 2 月13日)	11,170	0	22.1	97.4	117,101	
3 期末(2017年 8 月14日)	12,384	0	10.9	95.8	215,871	
4 期末(2018年 2 月13日)	14,072	0	13.6	97.5	375,075	
5 期末(2018年 8 月13日)	14,399	0	2.3	98.6	410,772	

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

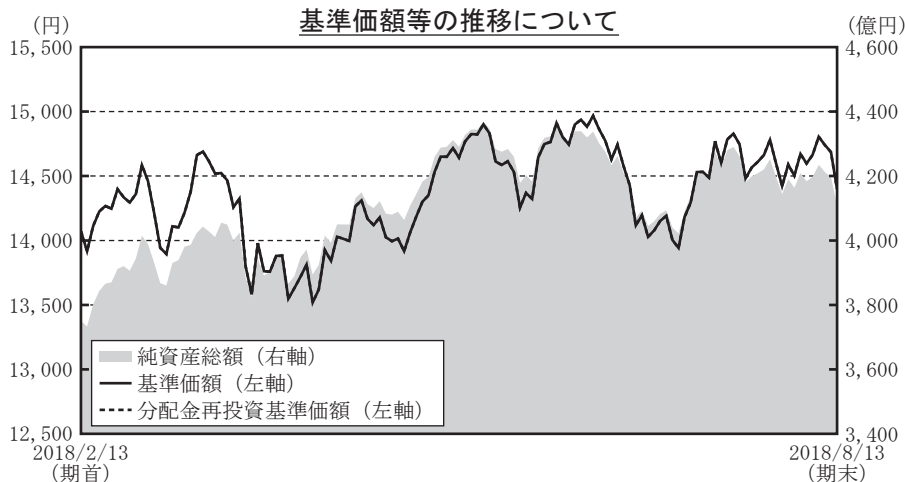
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2018年 2 月13日	円 14,072		% —	% 97.5
2 月末	14,459	2.8		96.6
3 月末	13,880	△1.4		96.3
4 月末	14,015	△0.4		97.4
5 月末	14,369	2.1		97.3
6 月末	14,077	0.0		97.6
7 月末	14,422	2.5		97.9
(期 末) 2018年 8 月13日	14,399	2.3		98.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2018年2月14日～2018年8月13日）



期 首：14,072円
 期 末：14,399円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰 落 率： 2.3%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

期初のグローバル株式市場は、米長期金利が上昇したことにより大幅に調整しました。3月には米国が中国に対して追加関税を発動したことから貿易摩擦懸念が高まり、市場は軟調な場面が見られたものの、次第に懸念が和らいだことや、良好な企業決算を背景に、回復基調へと転じました。しかし、6月に再び米国が中国へ追加関税措置を発表、翌日に中国が報復関税を発表するなど、貿易摩擦懸念が再燃し、グローバル株式市場は下落しました。好調な企業業績に支えられ再び市場は上昇したものの、拘束されている米国人牧師の解放をトルコが拒否したことから、8月にトランプ大統領がトルコへの輸入関税引き上げ等の制裁を表明し、グローバル市場は下落。期末には期初と比較してほぼ横ばいとなりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の108円台から期末には110円台、ユーロ・円レートは期初の133円台から期末には125円台となりました。

米ドルについては、期初は米長期金利が急上昇したことを受けて円高ドル安が進行、一時105円を切る局面もあったものの、米朝首脳会談開催による米朝緊張緩和、好調な米国経済指標、パウエルFRB議長の段階的な利上げ示唆や、トランプ米大統領とユンケル欧州委員会委員長の会談により貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどを背景に、円安ドル高となりました。一方、ユーロはイタリアとスペインの政局不安が高まり、一時大幅なユーロ安となりました。その後欧州中央銀行（ECB）の金融政策正常化への期待が高まったことから円安ユーロ高に転じたものの、期末はトルコを震源とする不安が欧州に波及し、期初と比較して円高ユーロ安で着地しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れています。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやアルファベット（旧グーグル）のような大型株からPTCやテラダイン、ナブテスコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、自動運転、航空宇宙およびIoTの製品設計・開発に必要なシミュレーションソフトウェア市場で先導的な地位を占めている米国のアンシス、3D技術を使った製造・建設業向けのデザインおよびエンジニアリング向けソフトウェアの開発・サポートを行っているオートデスク、5月に米国の大手スーパーマーケットチェーンのクローガーヘシステム提供が決定した英国のオンライン専門スーパーマーケットのオカド・グループを新規に組み入れました。一方、米国の競合会社との激しい価格競争を繰り広げている日本の農業機器のクボタ、市場予想を下回る決算を発表したイスラエルの3Dプリンターメーカーのストラタシスを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第5期
		2018年2月14日～2018年8月13日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		4,399

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術向けの自動車部品企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2018年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、現在の経済環境において当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2018年2月14日～2018年8月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.281%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,367円です。
（投 信 会 社）	(38)	(0.268)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(2)	(0.015)	
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.007)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	44	0.304	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■売買及び取引の状況（2018年2月14日～2018年8月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	36,144,856	42,110,000	15,009,489	18,050,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2018年2月14日～2018年8月13日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	110,140,568千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	421,474,117千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.26

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2018年2月14日～2018年8月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2018年2月14日～2018年8月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2018年8月13日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	325,379,168	346,514,535	410,689,027

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2018年8月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	410,689,027	99.5
コール・ローン等、その他	1,941,705	0.5
投資信託財産総額	412,630,733	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（362,487,713千円）の投資信託財産総額（438,939,971千円）に対する比率は、82.6%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.56円、1台湾ドル=3.60円、1英ポンド=141.04円、1ユーロ=125.89円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2018年8月13日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	412,630,733,066円
コール・ローン等	41,705,632
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	410,689,027,434
未 収 入 金	1,900,000,000
(B) 負 債	1,857,775,907
未 払 解 約 金	699,999,999
未 払 信 託 報 酬	1,157,189,342
その他未払費用	586,566
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	410,772,957,159
元 本	285,277,336,140
次 期 繰 越 損 益 金	125,495,621,019
(D) 受 益 権 総 口 数	285,277,336,140口
1万口当り基準価額(C/D)	14,399円

1. 期首元本額	266,534,687,607円
期中追加設定元本額	35,567,894,268円
期中一部解約元本額	16,825,245,735円
2. 1口当たり純資産額	1.4399円

■損益の状況

当期（自 2018年2月14日 至 2018年8月13日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 119,588円
受 取 利 息	5,017
支 払 利 息	△ 124,605
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,157,738,351
売 買 益	10,900,952,433
売 買 損	△ 743,214,082
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,157,797,165
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	8,999,821,598
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	57,689,292,092
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	58,806,507,329
(配 当 等 相 当 額)	(55,707,769,178)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,098,738,151)
(G) 計 (D+E+F)	125,495,621,019
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	125,495,621,019
追 加 信 託 差 損 益 金	58,806,507,329
(配 当 等 相 当 額)	(55,747,309,721)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,059,197,608)
分 配 準 備 積 立 金	66,689,113,690

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,050,057,042円）、費用控除後の有価証券等損益額（6,949,764,556円）、信託約款に規定する収益調整金（58,806,507,329円）および分配準備積立金（57,689,292,092円）より分配対象収益は125,495,621,019円（10,000口当たり4,399.07円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよび消費者向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日：2018年8月13日）

（計算期間 2017年8月15日～2018年8月13日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	純資産額
		期騰	落中率		
(設定日) 2015年12月8日	円		%	%	百万円
	10,000	—		—	95
1期末(2016年8月15日)	7,435	△25.7		96.8	108,241
2期末(2017年8月14日)	10,127	36.2		95.8	234,330
3期末(2018年8月13日)	11,852	17.0		98.6	436,627

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

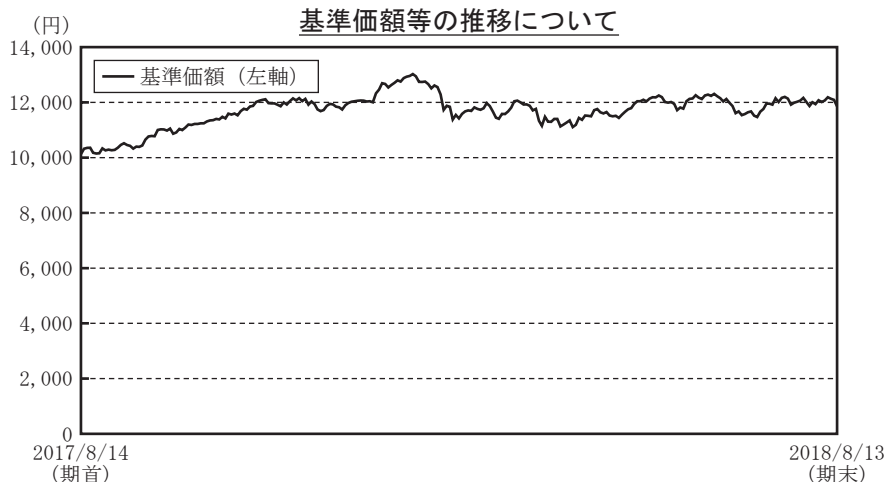
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準	価額		株組入比率
		騰	落率	
(期首) 2017年8月14日	円		%	%
	10,127	—		95.8
8月末	10,461	3.3		95.9
9月末	10,997	8.6		96.4
10月末	11,736	15.9		96.8
11月末	11,916	17.7		96.3
12月末	12,005	18.5		95.8
2018年1月末	12,506	23.5		97.2
2月末	11,869	17.2		96.6
3月末	11,399	12.6		96.3
4月末	11,515	13.7		97.2
5月末	11,812	16.6		97.2
6月末	11,579	14.3		97.4
7月末	11,869	17.2		97.6
(期末) 2018年8月13日	11,852	17.0		98.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況 (2017年8月15日～2018年8月13日)



【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に米国の保有銘柄の株価上昇に加えて、為替市場で米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

期初のグローバル株式市場は、米長期金利が上昇したことにより大幅に調整しました。3月には米国が中国に対して追加関税を発動したことから貿易摩擦懸念が高まり、市場は軟調な場面が見られたものの、次第に懸念が和らいだことや、良好な企業決算を背景に、回復基調へと転じました。しかし、6月に再び米国が中国へ追加関税措置を発表、翌日に中国が報復関税を発表するなど、貿易摩擦懸念が再燃し、グローバル株式市場は下落しました。好調な企業業績に支えられ再び市場は上昇したものの、拘束されている米国人牧師の解放をトルコが拒否したことから、8月にトランプ大統領がトルコへの輸入関税引き上げ等の制裁を表明し、グローバル市場は下落。期末には期初と比較してほぼ横ばいとなりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の108円台から期末には110円台、ユーロ・円レートは期初の133円台から期末には125円台となりました。

米ドルについては、期初は米長期金利が急上昇したことを受けて円高ドル安が進行、一時105円を切る局面もあったものの、米朝首脳会談開催による米朝緊張緩和、好調な米国経済指標、パウエルFRB議長の段階的な利上げ示唆や、トランプ米大統領とユンケル欧州委員会委員長の会談により貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどを背景に、円安米ドル高となりました。一方、ユーロはイタリアとスペインの政局不安が高まり、一時大幅なユーロ安となりました。その後欧州中央銀行(ECB)の金融政策正常化への期待が高まったことから円安ユーロ高に転じたものの、期末はトルコを震源とする不安が欧州に波及し、期初と比較して円高ユーロ安で着地しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやアルファベット（旧グーグル）のような大型株からP T Cやテラダイン、ナブテスコなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、自動運転、航空宇宙およびI o Tの製品設計・開発に必要なシミュレーションソフトウェア市場で先導的な地位を占めている米国のアンシス、3 D技術を使った製造・建設業向けのデザインおよびエンジニアリング向けソフトウェアの開発・サポートを行っているオートデスク、5月に米国の大手スーパーマーケットチェーンのクローガーヘシステム提供が決定した英国のオンライン専門スーパーマーケットのオカド・グループを新規に組み入れました。一方、米国の競合会社との激しい価格競争を繰り広げている日本の農業機器のクボタ、市場予想を下回る決算を発表したイスラエルの3 Dプリンターメーカーのストラタシスを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術向けの自動車部品企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

当運用チームでは、2018年は産業、ヘルスケア、自動車、テクノロジー、物流などの幅広い分野でロボット関連技術の導入が加速すると考えており、現在の経済環境において当ファンドの見通しは引き続き明るいと考えています。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2017年8月15日～2018年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	6円 (6)	0.049% (0.049)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	1 (1)	0.013 (0.013)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	7	0.061	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は11,709円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2017年8月15日～2018年8月13日)

株 式

			買 付		売 付	
			株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株	千円	千株	千円	
		11,329	39,852,946	4,840	14,523,252	
外国	ア メ リ カ	百株	千米ドル	百株	千米ドル	
		196,776 (6,845)	1,334,235 (△8,822)	66,027	344,910	
	台 湾	千台湾ドル	千台湾ドル	3,590	82,375	
	イ ギ リ ス	千英ポンド	千英ポンド	76	80	
	ス イ ス	千スイスフラン	千スイスフラン	23,768	52,042	
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ			
	オ ラ ン ダ			803	2,887	
	フ ラ ン ス			645	3,629	
ド イ ツ			2,325	12,474		

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2017年8月15日～2018年8月13日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	291,351,176千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	368,396,670千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.79

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2017年8月15日～2018年8月13日)

買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
TE CONNECTIVITY LTD	723	7,817,833	10,807	安川電機	1,361	6,699,348	4,919
XILINX INC	834	6,730,631	8,066	SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	1,124	6,424,823	5,715
SCHNEIDER ELECTRIC SE	685	6,599,660	9,621	ABB LTD	2,376	5,819,274	2,448
HOLOGIC INC	1,370	6,221,163	4,538	クボタ	2,884	5,108,398	1,771
クボタ	2,884	6,111,631	2,119	ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	277	3,567,110	12,874
INFINEON TECHNOLOGIES AG	1,952	5,799,597	2,969	GENERAL ELECTRIC CO	1,788	3,393,865	1,897
PARKER HANNIFIN CORP	281	5,662,019	20,108	STRATASYS LTD	1,354	2,658,083	1,961
SILICON LABORATORIES INC	551	5,521,072	10,017	AMAZON.COM INC.	14	2,634,255	181,911
ILLUMINA INC	219	5,251,281	23,892	DEXCOM INC	187	2,029,949	10,854
KION GROUP AG	560	5,232,239	9,332	MANHATTAN ASSOCIATES INC	373	1,736,339	4,652

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2017年8月15日～2018年8月13日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況 (2017年8月15日～2018年8月13日)

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細 (2018年8月13日現在)

(1) 国内株式

銘柄	前期末 株数	当期末	
		株数	金額
	千株	千株	千円
機械 (16.2%)			
ナブテスコ	1,124	1,569	4,385,355
SMC	137	197	7,062,224
電気機器 (74.4%)			
三菱電機	2,782	4,368	6,361,992
安川電機	2,093	1,711	5,862,915
日本電産	342	493	7,563,822
オムロン	832	1,171	5,708,625
ルネサスエレクトロニクス	1,909	5,325	4,382,475
キーエンス	154	223	13,364,390
ファナック	317	442	9,464,773
卸売業 (9.5%)			
ミスミグループ本社	1,687	2,367	6,697,940
合計	11,380	17,869	70,854,511
銘柄数<比率>	10	10	<16.2%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額 千米ドル		邦貨換算金額 千円
(アメリカ)	百株	百株			
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	6,790	—	—	—	資本財
STRATASYS LTD	8,740	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
WRIGHT MEDICAL GROUP NV	—	19,384	54,413	6,015,968	ヘルスケア機器・サービス
APTIV PLC	4,299	7,260	68,628	7,587,618	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD	—	7,062	65,083	7,195,633	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	723	995	123,145	13,615,011	ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC.	591	700	132,171	14,612,842	小売
ANSYS INC	—	2,115	36,282	4,011,397	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	3,449	4,737	98,322	10,870,538	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	—	4,198	45,523	5,033,089	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	—	2,781	37,504	4,146,525	ソフトウェア・サービス
BAIDU INC - SPON ADR	1,884	3,426	75,414	8,337,840	ソフトウェア・サービス
BECTON DICKINSON & CO	1,755	2,794	69,673	7,703,077	ヘルスケア機器・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	12,191	18,936	85,592	9,463,099	ソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS INC	14,451	19,948	87,335	9,655,773	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COGNEX CORP	4,751	15,463	81,448	9,004,948	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	—	24,225	40,481	4,475,647	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	3,396	4,974	61,354	6,783,371	ヘルスケア機器・サービス
GENERAL ELECTRIC CO	13,465	—	—	—	資本財
GLOBUS MEDICAL INC-A	4,914	6,997	36,630	4,049,821	ヘルスケア機器・サービス
HOLOGIC INC	—	13,315	54,141	5,985,854	ヘルスケア機器・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	3,235	4,491	68,754	7,601,537	資本財
IPG PHOTONICS CORP	2,628	3,646	59,251	6,550,846	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	—	2,134	70,507	7,795,332	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	497	1,855	96,650	10,685,651	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	5,206	10,521	61,654	6,816,550	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MANHATTAN ASSOCIATES INC	3,723	—	—	—	ソフトウェア・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	4,552	6,409	56,025	6,194,220	半導体・半導体製造装置
NVIDIA CORP	1,895	2,612	66,566	7,359,556	半導体・半導体製造装置
NUVASIVE INC	3,041	6,097	39,367	4,352,523	ヘルスケア機器・サービス
PTC INC	8,234	11,433	107,819	11,920,493	ソフトウェア・サービス
PARKER HANNIFIN CORP	1,889	4,530	76,111	8,414,912	資本財
QUALCOMM INC	7,313	12,936	83,852	9,270,690	半導体・半導体製造装置
ROCKWELL AUTOMATION INC	2,874	3,967	68,747	7,600,741	資本財
SILICON LABORATORIES INC	—	5,353	51,233	5,664,330	半導体・半導体製造装置
STRYKER CORP	1,526	2,691	44,639	4,935,321	ヘルスケア機器・サービス
TERADYNE INC	11,902	20,297	84,660	9,360,092	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.	—	535	19,024	2,103,298	自動車・自動車部品
TEXAS INSTRUMENTS INC	4,392	6,050	66,608	7,364,226	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,625	3,831	88,662	9,802,557	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC	10,906	20,254	79,376	8,775,859	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
XILINX INC	—	8,105	57,675	6,376,622	半導体・半導体製造装置
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	2,256	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		評 価 額
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMBARELLA INC		百株 6,224	百株 8,582	千米ドル 33,230	千円 3,673,909	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	166,333 33	305,656 39	2,633,568 -	291,167,339 <66.7%>	
(台湾) TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		62,920	91,650	千台湾ドル 2,245,425	8,083,530	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	62,920 1	91,650 1	2,245,425 -	8,083,530 <1.9%>	
(イギリス) OCADO GROUP PLC		-	14,931	千英ポンド 15,603	2,200,778	小売
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	- -	14,931 1	15,603 -	2,200,778 <0.5%>	
(スイス) ABB LTD		16,250	-	千スイスフラン -	-	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	16,250 1	- -	- -	- <->	
(オランダ) KONINKLIJKE PHILIPS NV		12,005	18,369	千ユーロ 69,327	8,727,645	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	12,005 1	18,369 1	69,327 -	8,727,645 <2.0%>	
(フランス) SCHNEIDER ELECTRIC SE VALEO SA		- 6,620	6,676 10,784	千ユーロ 45,383 44,787	5,713,373 5,638,270	資本財 自動車・自動車部品
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	6,620 1	17,460 2	90,171 -	11,351,644 <2.6%>	
(ドイツ) CONTINENTAL AG DUERR AG SIEMENS AG INFINEON TECHNOLOGIES AG KION GROUP AG		1,481 2,893 4,819 15,213 4,773	2,388 11,256 7,183 33,426 10,125	千ユーロ 44,541 46,195 79,407 73,270 58,970	5,607,296 5,815,585 9,996,639 9,223,978 7,423,804	自動車・自動車部品 資本財 資本財 半導体・半導体製造装置 資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	29,181 5	64,379 5	302,385 -	38,067,304 <8.7%>	
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	47,807 7	100,209 8	461,884 -	58,146,593 <13.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	293,311 42	512,448 49	- -	359,598,241 <82.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2018年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 430,452,753	% 98.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,487,218	1.9
投 資 信 託 財 産 総 額	438,939,971	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建資産(362,487,713千円)の投資信託財産総額(438,939,971千円)に対する比率は、82.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=110.56円、1台湾ドル=3.60円、1英ポンド=141.04円、1ユーロ=125.89円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	439,560,995,007円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,544,562,886
株 式(評価額)	430,452,753,388
未 収 入 金	2,329,685,055
未 収 配 当 金	233,993,678
(B) 負 債	2,933,318,116
未 払 金	883,022,455
未 払 解 約 金	2,050,000,000
そ の 他 未 払 費 用	295,661
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	436,627,676,891
元 本	368,413,075,965
次 期 繰 越 損 益 金	68,214,600,926
(D) 受 益 権 総 口 数	368,413,075,965口
1万口当り基準価額(C/D)	11,852円

- 期首元本額 231,382,404,811円
期中追加設定元本額 161,939,150,943円
期中一部解約元本額 24,908,479,789円
- 1口当たりの純資産額 1.1852円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 346,514,535,466円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 21,898,540,499円
期末元本合計 368,413,075,965円

■損益の状況

(2017年8月15日～2018年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,791,037,996円
受 取 配 当 金	3,745,956,197
受 取 利 息	47,972,318
そ の 他 収 益 金	760,345
支 払 利 息	△ 3,650,864
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	36,551,935,761
売 買 益	61,417,257,480
売 買 損	△24,865,321,719
(C) 信 託 報 酬 等	△ 48,296,002
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	40,294,677,755
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,948,594,325
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,943,520,211
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	28,914,849,057
(H) 計 (D+E+F+G)	68,214,600,926
次 期 繰 越 損 益 金(H)	68,214,600,926

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。